

## 2 届出排出量及び移動量の状況

### (1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成22年度には、平成21年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、県内で1,583事業所から届出がありました。

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
原油・天然ガス鉱業	1	3	その他の製造業	7	7
食料品製造業	9	9	電気業	7	6
飲料・たばこ・飼料製造業	4	5	熱供給業	2	1
衣服・その他の繊維製品製造業	1	3	下水道業	40	30
家具・装備品製造業	3	5	鉄道業	1	1
パルプ・紙・紙加工品製造業	12	6	倉庫業	10	19
出版・印刷・同関連産業	15	17	石油卸売業	13	5
化学工業	143	142	鉄スクラップ卸売業	1	1
石油製品・石炭製品製造業	13	28	燃料小売業	683	6
プラスチック製品製造業	43	52	洗濯業	13	4
ゴム製品製造業	8	40	自動車整備業	117	6
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	1	機械修理業	4	5
窯業・土石製品製造業	16	18	商品検査業	2	4
鉄鋼業	12	21	計量証明業	2	2
非鉄金属製造業	25	29	一般廃棄物処理業（ごみ処分業に限る。）	48	31
金属製品製造業	88	31	産業廃棄物処分業	21	34
一般機械器具製造業	38	25	高等教育機関	9	6
電気機械器具製造業	55	33	自然科学研究所	24	18
輸送用機械器具製造業	87	42	合計	1,583	167
精密機械器具製造業	4	5			
武器製造業	1	1			

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	499	逗子市	3	綾瀬市	35	開成町	7
川崎市	211	三浦市	6	葉山町	5	箱根町	10
相模原市	117	秦野市	49	寒川町	21	真鶴町	—
横須賀市	70	厚木市	75	大磯町	4	湯河原町	1
平塚市	103	大和市	45	二宮町	1	愛川町	27
鎌倉市	29	伊勢原市	33	中井町	5	清川村	2
藤沢市	73	海老名市	22	大井町	7	合計	1,583
小田原市	49	座間市	23	松田町	—		
茅ヶ崎市	31	南足柄市	13	山北町	7		

※ 松田町、真鶴町は届出がありませんでした。

## (2) 届出排出量・移動量の集計結果

### ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった排出量・移動量全体は、総届出排出量・移動量 16,391 トンであり、その内訳は、総届出排出量 6,364 トン、総届出移動量 10,027 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 6,062 トン、公共用水域への排出 302 トン、土壌への排出 0.002 トンでした。なお、事業所内での埋立処分はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 9,955 トン、下水道への移動 72 トンでした。

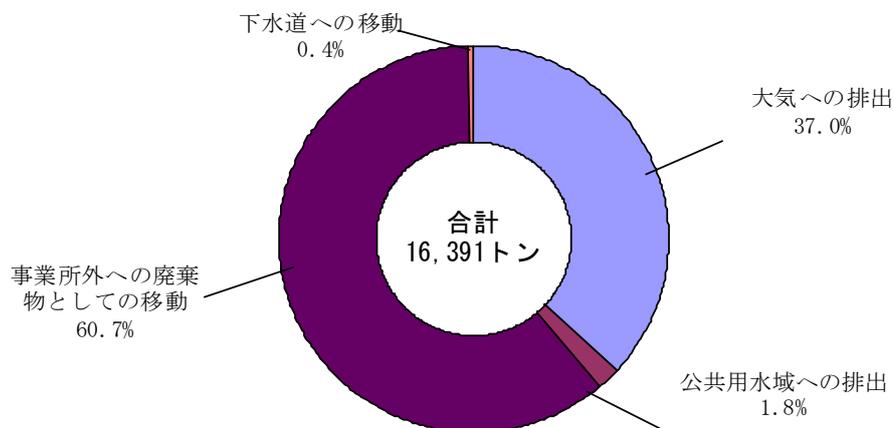


図1 総届出排出量・移動量

### イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の多い上位 10 物質の合計は 12,450 トンで、総届出排出量・移動量 16,391 トンの 76.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

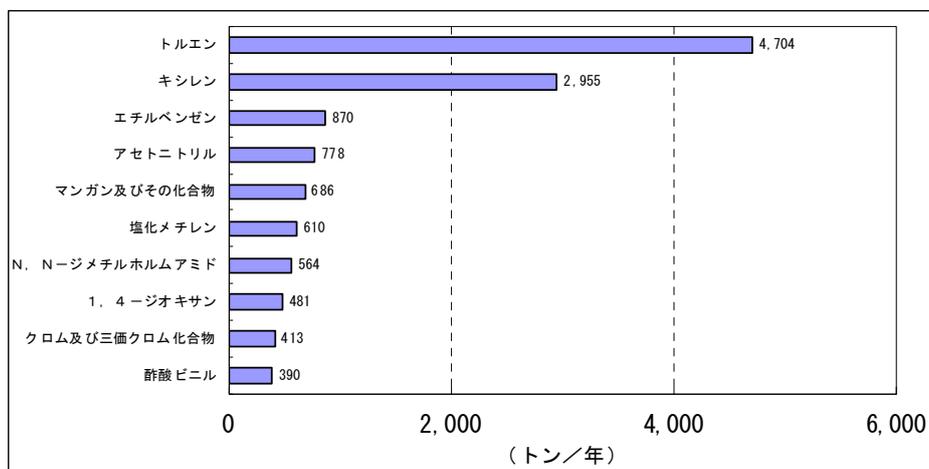


図2 届出排出量・移動量上位 10 物質

### ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,843 トンで、総届出排出量 6,364 トンの 91.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

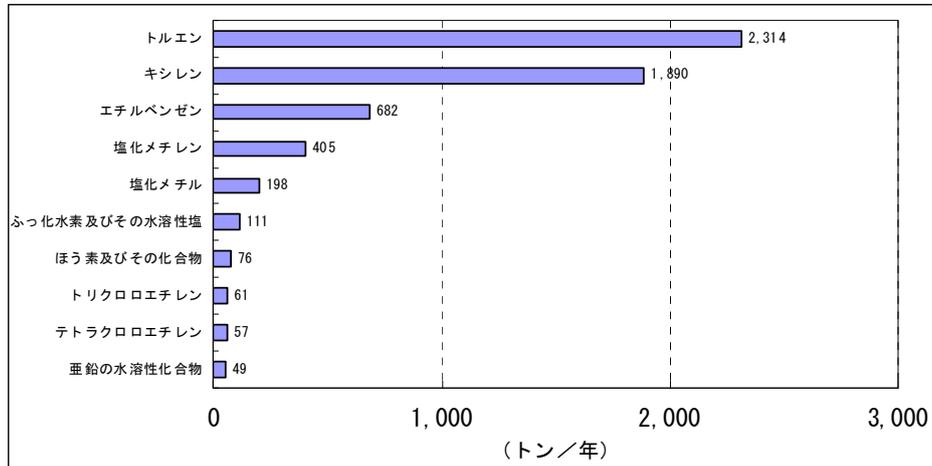


図 3 届出排出量上位 10 物質

### エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質の合計は 7,232 トンで、総届出移動量 10,027 トンの 72.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

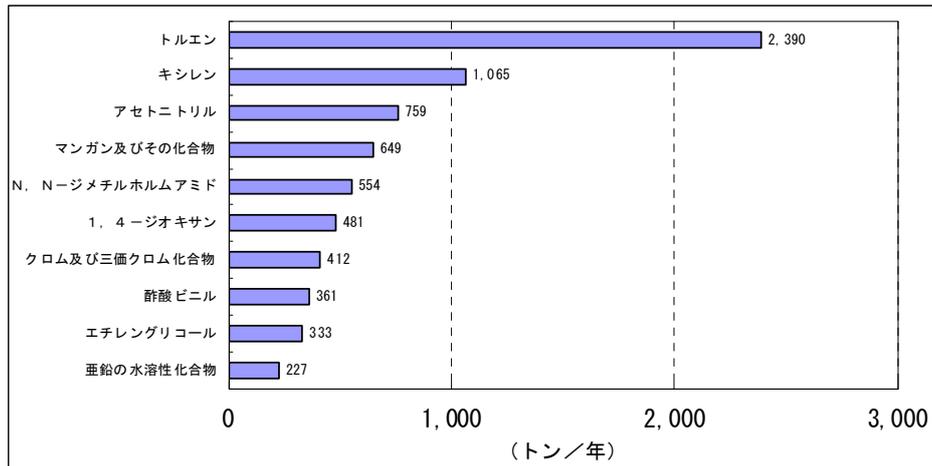


図 4 届出移動量上位 10 物質

## オ 届出排出量の排出先ごとの状況

### (ア) 大気への排出状況

大気への排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,728 トンで、大気への排出量全体 6,062 トンの 94.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

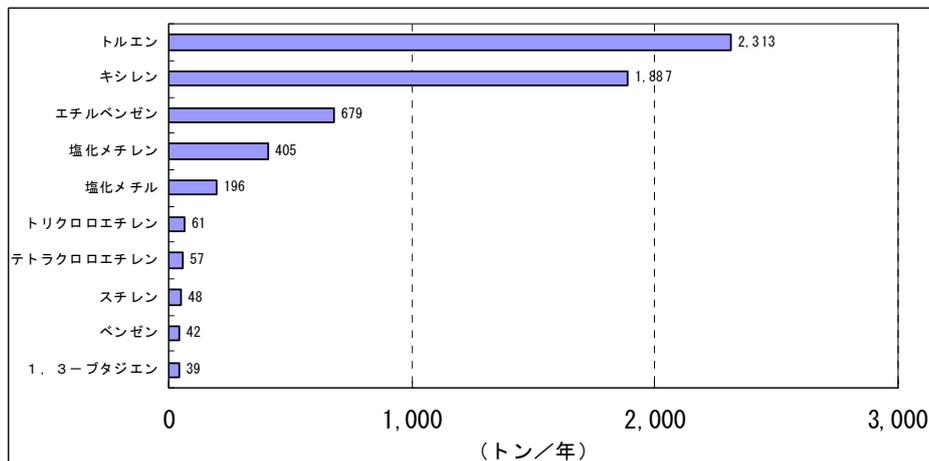


図5 大気への排出量上位10物質

### (イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質の合計は 290 トンで、公共用水域への排出量全体 302 トンの 96.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

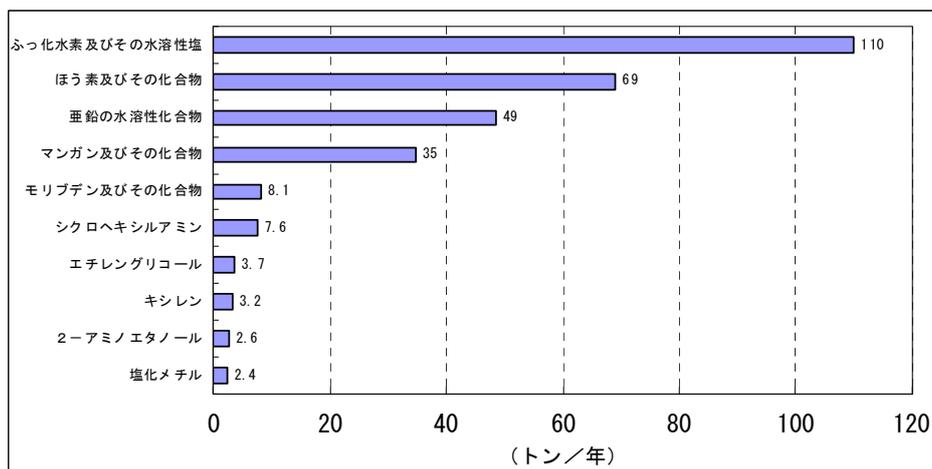


図6 公共用水域への排出量上位10物質

### (ウ) 土壌への排出状況

土壌への排出を行ったという届出があったのは、クロム及び三価クロム化合物、ニッケル、マンガン及びその加工物であり、排出の量は 0.002 トンでした。

### (エ) 事業所における埋立処分の状況

平成 21 年度は、事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

## カ 届出移動量の移動先ごとの状況

### (ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質の合計は 7,184 トンで、廃棄物としての移動量全体 9,955 トンの 72.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

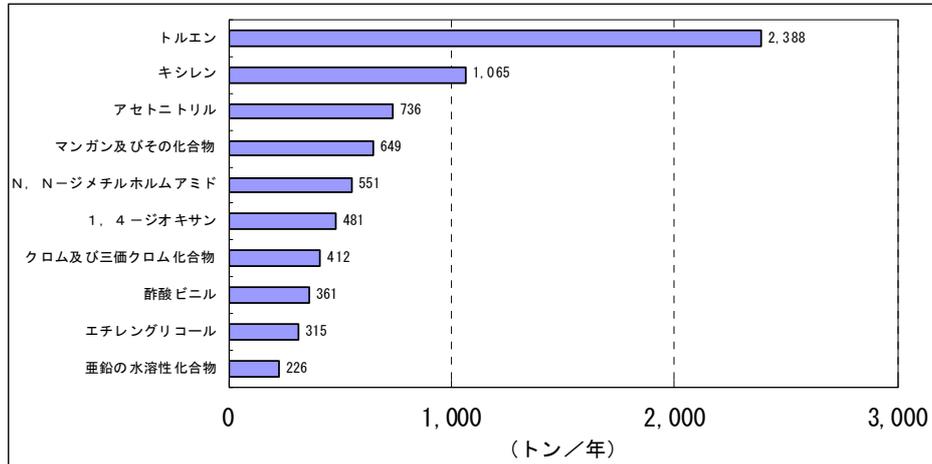


図 7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

### (イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の多い上位 10 物質の合計は 65 トンで、下水道への移動量全体 72 トンの 90.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

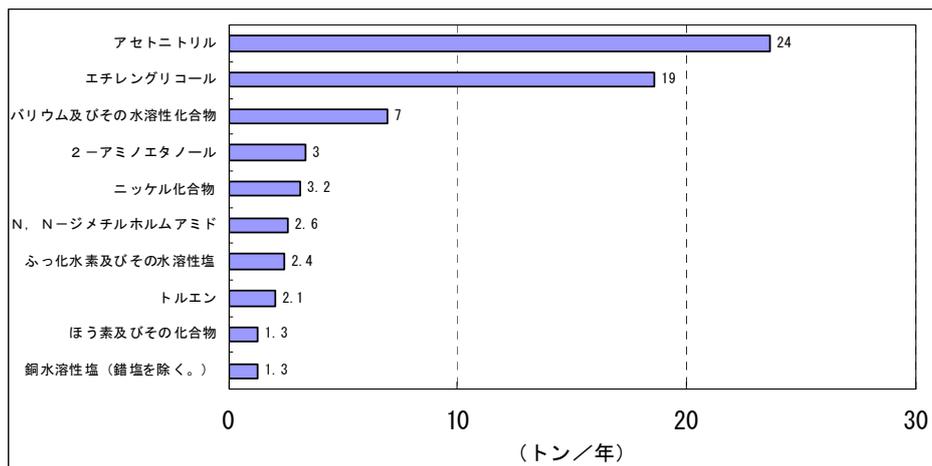


図 8 下水道への移動量上位 10 物質

## キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

### (7) 届出排出量・移動量

製造業からの届出排出量・移動量の合計は 15,685 トンで、総届出排出量・移動量 16,391 トンの 95.7%を占めます。

また、届出排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 14,999 トンで、総届出排出量・移動量の 91.5%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

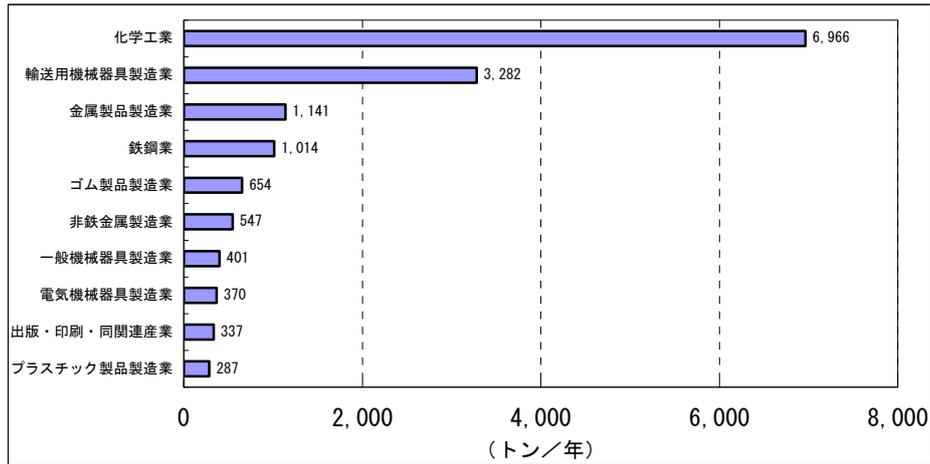


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

### (イ) 届出排出量

製造業からの届出排出量の合計は 6,044 トンで、総届出排出量 6,364 トンの 95.0%を占めます。

また、届出排出量の多い上位 10 業種の合計は 5,889 トンで、総届出排出量の 92.5%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

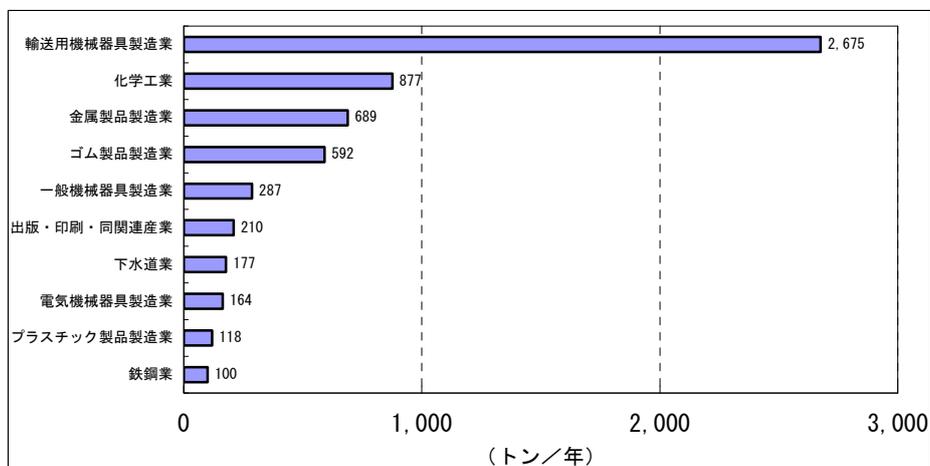


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

製造業からの届出移動量の合計は9,641 トンで、総届出移動量 10,027 トンの96.2%を占めます。

また、届出移動量の多い上位 10 業種の合計は9,701 トンで、総届出移動量の96.7%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

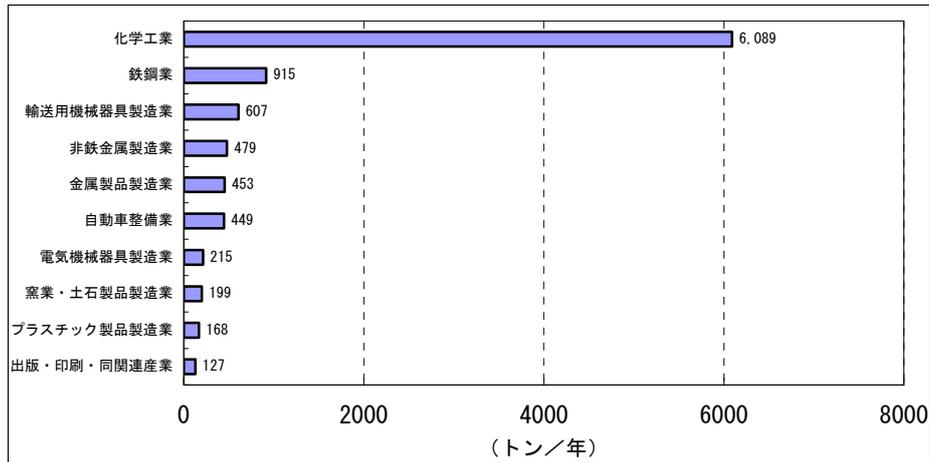


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 12 物質のうち、本県では次のとおり 8 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
ニッケル化合物	554	1,183	0	0	1,736	81,160	3,161	84,321	86,057
六価クロム化合物	2	27	0	0	29	39,880	80	39,960	39,989
ベンゼン	42,321	161	0	0	42,483	3,734	0	3,734	46,217
石綿	0	0	0	0	0	4,200	0	4,200	4,200
塩化ビニル	10,400	54	0	0	10,454	0	0	0	10,454
エチレンオキシド	17,936	0	0	0	17,936	950	0	950	18,886
砒素及びその無機化合物	4	10	0	0	15	5,140	0	5,140	5,155
カドミウム及びその化合物	1	9	0	0	9	62	0	62	71
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メトキサレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
合計	71,218	1,444	0	0	72,662	135,126	3,242	138,367	211,029